

こんにちは

西  学校です

UNESCO 西中 自立・共生・貢献

見附市立西中学校 学校だより

2020・4・24

## 令和2年度入学式の報告です



101名の新入生を迎え入学式を行いました。コロナウイルス対応で新入生・保護者・職員のための式となりました。

「西中学校は今年創立35年目を迎えました。教育目標「心豊かで力強い中学生」は、困難を乗り越え、社会に貢献できる心身ともにたくましい中学生になって欲しいという願いが込められています。学校の特色として「西中道」があります。これは生徒が自分たちで考え、実行している自主・自立の活動を集約したものです。これは、他の学校にはない、大変素晴らしいものです。その精神が学習や部活動に生かされ、また良き伝統として、長年に渡って引き継がれています。皆さんも今日から西中学校の一員です。良き伝統を引き継ぐ担い手としてがんばってください。

さて、中学校生活を始める皆さんに、二つお話しします。一つめの話です。私は、中学校時代の三年間は、自分を見つめ、将来の生き方を考えはじめる、一生の中でとても大切な三年間だと思っています。つまり大人になるために必要なことを具体的に学び身につけ始める時期ということです。例えば挨拶や言葉遣いです。中学生になると部活動の大会や職場体験などで学校の外で多くの大人の人と会います。そこではきちんと挨拶し、話ができる力が求められます。そしてそれはある日突然できるようになるものではありません。普段から地域の人と挨拶を交わし、敬語を使う習慣を身につけることでできるようになるものです。そして大人になるために最も大切なことは「自分で夢や目標を決め、その実現に向かって挑戦し続ける」ということです。三年後は高校進学という人生で初めての大きな選択をすることになります。今からそのことを意識して、まずは目の前の目標をひとつずつ達成するようにしてください。目標に向かって全力で取り組むこと、熱中することは、必ず皆さんの成長につながり、人生を豊かにします。

二つめは、「見附市に生まれたこと、西中学校の生徒であることに誇りを持つこと」です。そして「育ててくれた地域に感謝の気持ちで貢献すること」です。見附市は、伝統や文化に彩られた素晴らしい地域です。教育の分野でもユネスコスクールやコミュニティースクールの実践にいち早く取り組み、成果を上げています。さらに令和元年度には国連の定める持続可能な開発のための目標に沿った「SDG, S未来都市見附」の認定を受け、大きな視点からの街づくりも始まりました。これらは住む人たちの地域を愛する心や教育にかける熱い想いが込められたものです。皆さんは中学生としてそのことをきちんと理解し、ここに生まれたことに感謝するとともに、地域に貢献する気持ちをもって、活動に参加してほしいと思います。〈 4/8入学式式辞より抜粋〉

## 4/25(土)～5/10(日)新型コロナウイルス対応臨時休業です

政府の緊急事態宣言の全国拡大を受けて、見附市教育委員会はGWをはさむ16日間の市立学校一斉休業を指示しました。西中も明日から休業になります。地域並びに保護者の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 臨時休業中がんばること(生徒)

- 毎朝の検温と健康カードへの記入。  
(37.5℃以上でだるさや息苦しさを感したら、お家の方に相談し、担任にも連絡)
- 不要・不急の外出はしないこと。  
(いわゆる三密[密閉された空間、人が密集した場所、人との密接な接触]を避ける)
- 学習課題(一覧表配布)に取組み、生活設計表に記入すること。

**4月の教育活動紹介** 新型コロナウイルス対応で様々な制限がある状況ですが、西中生は、元気に令和2年度の活動を開始しております。その様子を紹介いたします。



桜の下で学級写真撮影  
(みんないい笑顔です)



明和会入会式(2・3年生は先輩らしく、1年生は真剣な表情でした)



文化部長が生徒玄関の部活動掲示板に  
素敵なポスターを掲示しました

